

▶ 2019年度の取組状況

当金庫における「お客様本位の業務運営」の主な取組状況は次のとおりです。

※共通KPIとは、投資信託を販売する金融機関において、「顧客本位の業務運営」の取組状況を比較可能とするため、金融庁より公表を推奨されている「成果指標(KPI)」のことです。

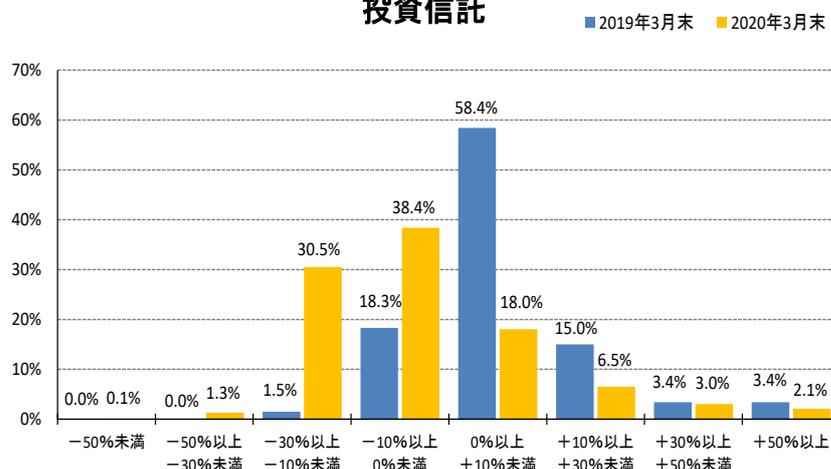
● 比較可能な指標(共通KPI)

(1) 運用損益別顧客比率(投資信託)

運用損益の区分	人数	比率
-50%未満	7	0.1%
-50%以上-30%未満	87	1.3%
-30%以上-10%未満	2,012	30.5%
-10%以上0%未満	2,529	38.4%
0%以上+10%未満	1,187	18.0%
+10%以上+30%未満	427	6.5%
+30%以上+50%未満	200	3.0%
+50%以上	140	2.1%

2020年3月末時点

投資信託



(2) 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

2020年03月末時点

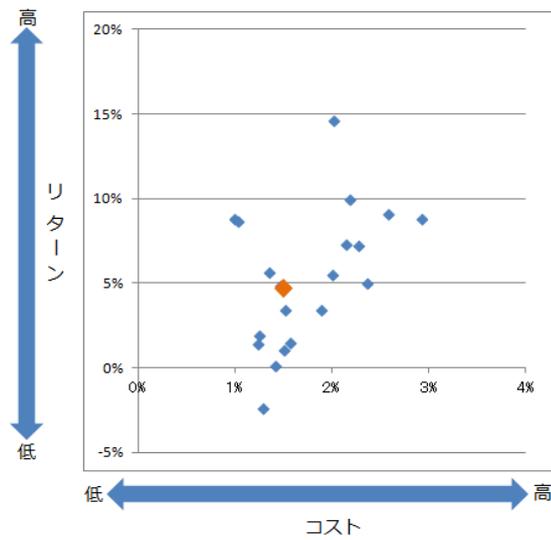
No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型(財産3分法)	1.49	9.21	0.54
2	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91	4.77	1.57
3	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型(世界の財産3分法)	1.38	9.36	-0.28
4	トレンド・アロケーション・オープン	1.51	7.90	-2.22
5	インデックスファンド225	1.01	17.09	1.13
6	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	15.44	5.79
7	D I A M高格付インカム・オープン(毎月決算コース)(ハッピークローバー)	1.43	7.44	-3.03
8	高格付債券ファンド(為替ヘッジ70)毎月分配型(73(しちさん))	1.26	2.84	-0.01
9	インデックスファンドJリート	1.05	13.43	0.03
10	D I A Mワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(世界家主俱樂部)	2.18	17.01	-3.46
11	世界のサイフ	1.30	8.63	-4.93
12	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.04	16.33	-2.93
13	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)(円奏会(年1回決算型))	1.14	3.44	0.62
14	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.60	5.19	-0.56
15	ダイワ・U S - R E I T ・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	16.77	-1.93
16	世界三資産バランスファンド(毎月分配型)(セッション)	1.54	7.20	-0.41
17	e M A X I S N Yダウインデックス	0.66	18.13	3.85
18	日本債券ファンド	1.26	2.01	0.83
19	損保ジャパン・グリーン・オープン(ぶなの森)	2.31	18.13	-1.43
20	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン(椰子の実)	2.40	17.11	-4.90

設定後5年以上経過している投資信託※の残高上位20銘柄を対象とします。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除きます。

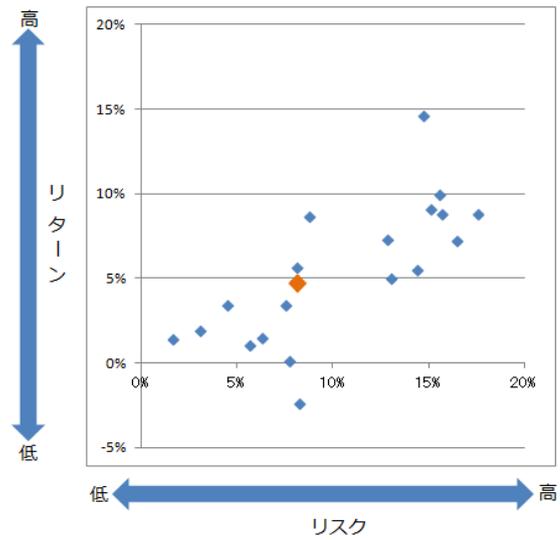
【2019年3月末】

投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.51	4.88

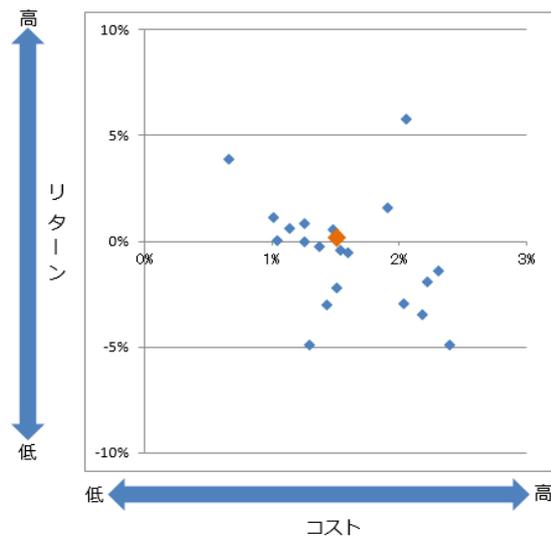
投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	8.35	4.88

【2020年3月末】

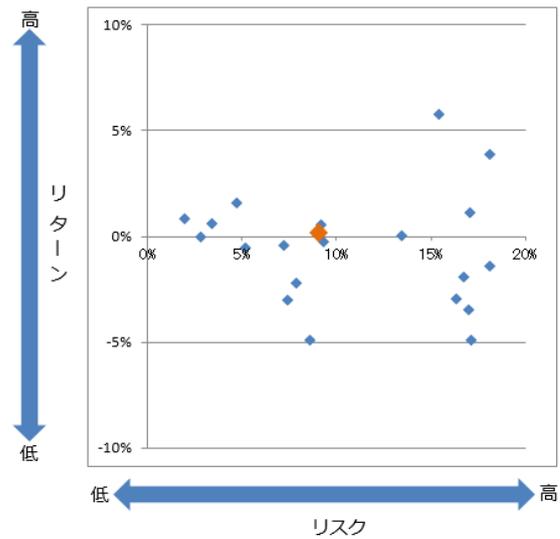
投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.52	0.22

コスト	全体	販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
リターン	過去5年間のトータルリターン (年率換算)	

投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	9.38	0.22

リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)
リターン	過去5年間のトータルリターン (年率換算)

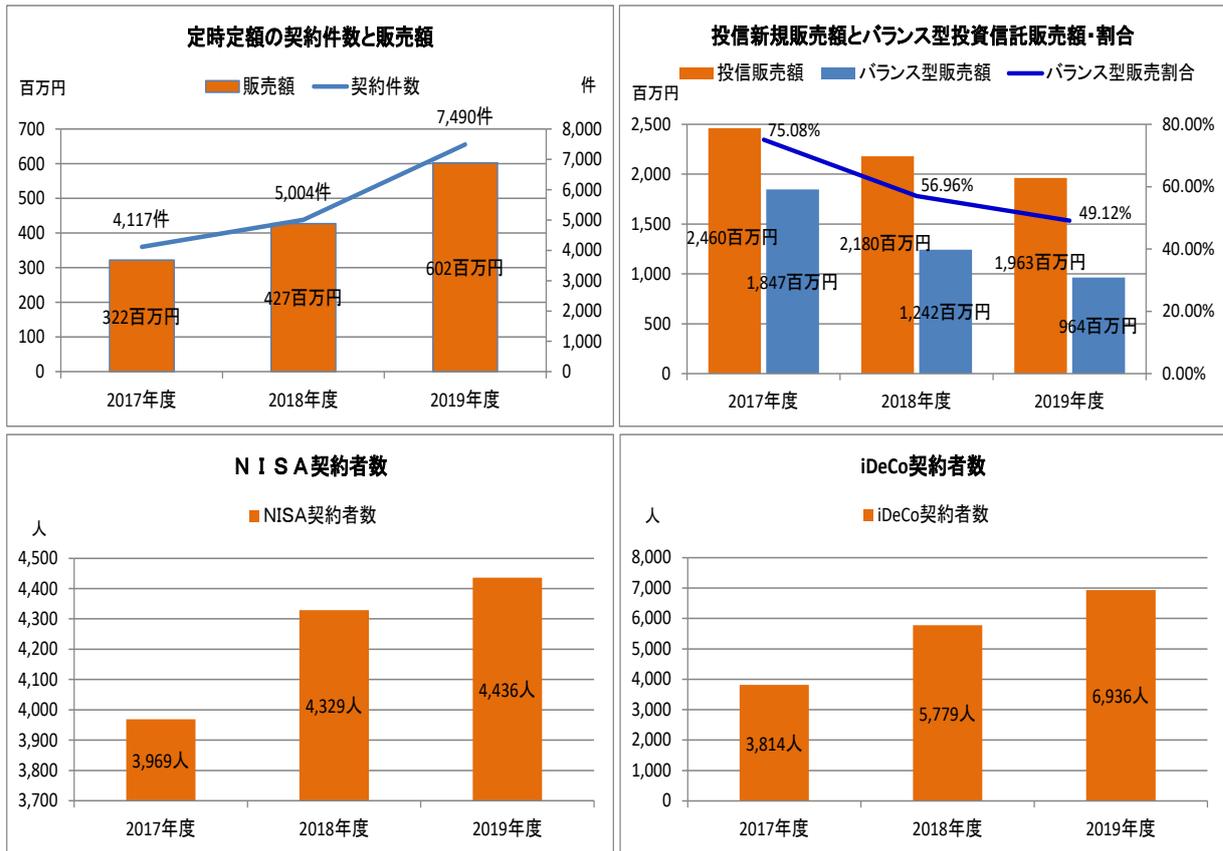
リスク・リターン出所：株式会社NTTデータ・エービック
Copyright (C) 2020, NTT DATA ABIC Co., Ltd. All rights reserved.

○「お客様本位の業務運営」に係る取組み状況（自主的な指標）

1. お客様の生活を生涯にわたってサポートすることを第一に考えた取組み

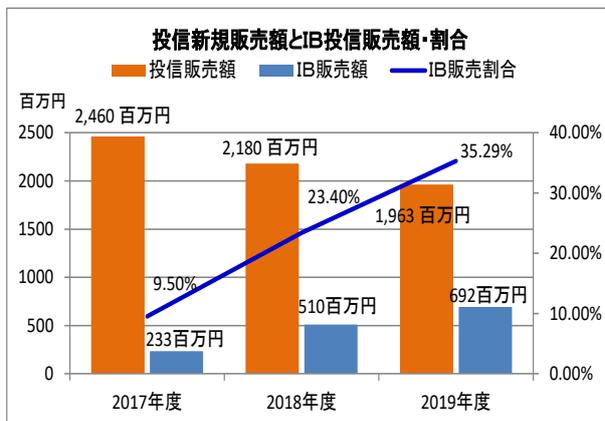
（1）長期的・安定的な資産形成のご提案

投資信託のご購入を検討されるお客様に対し、長期・分散・税制メリット等を活かしたアドバイスに努めています。



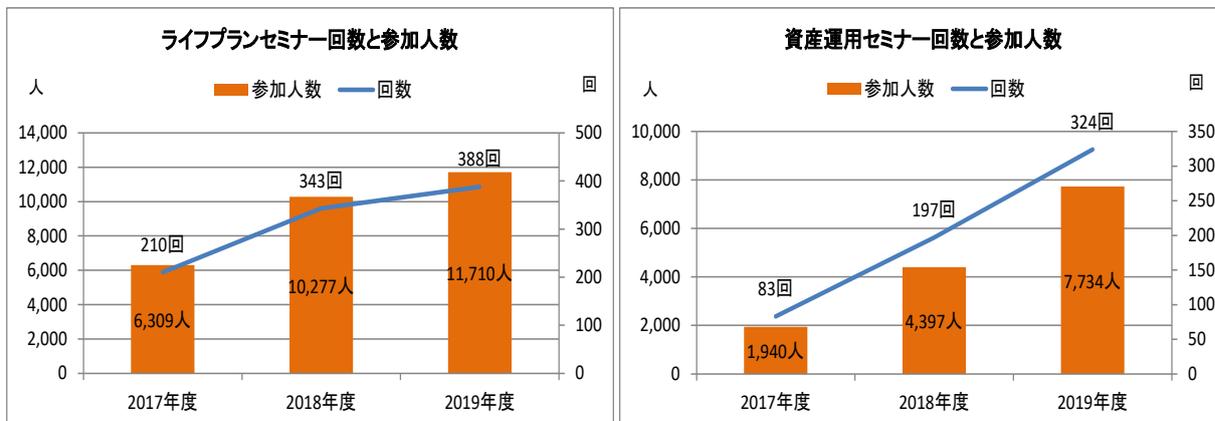
（2）お客様の利便性の向上に向けた取組み

お客様の利便性を図るため、2017年8月よりインターネットバンキング（IB）投資信託のサービスを開始しています。



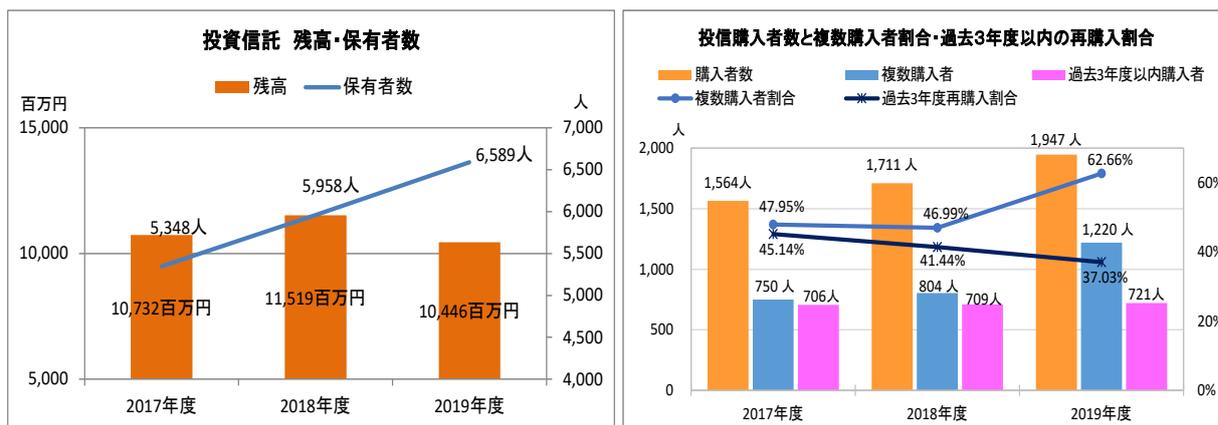
2. お客様の立場に立ったわかりやすい情報提供の取組み

幅広いテーマで金融知識の向上に資するセミナーを積極的に開催し、資産形成の支援に努めています。



3. 取組みの成果

当金庫の投資信託の保有者数は、方針に沿った取組みがお客様に支持され、着実に増加しています。



* 該当年度の投信購入者、うち複数商品購入（定時定額含む）および過去3年度以内購入者の再購入状況。

【2019年度の例】

- ① 2019年度投信購入者数（定時定額契約を含む）：1,947人
- ② ①のうち、複数購入・契約者数：1,220人
- ③ ①のうち、2016年度～2018年度の購入経験者数：721人
- ④ ①に占める②の割合：62.66%
- ⑤ ①に占める③の割合：37.03%

以上